

Unit 3

(概要)

Part 2(応答問題)対策として、5W1Hの質問文形式の内、疑問副詞 When, Where, Why の聞き分けと典型的な答え方を学びます。リスニングに問題において、瞬時に正しい答え方を選択できるだけでなく、英会話でも大いに役立ちます。

Part 5(短文穴埋め問題)対策では、Unit 1, 2 の復習として品詞問題総合を演習します。品詞問題は Part 5 だけでなく Part 6 でも頻出するため、本 Unit で知識の定着・習得を目指します。

Speaking Test 問題(P50)では、100 語程度の文章を音読します。Unit 1 で学んだ名詞句の考えを活かすことで、語句のかたまりを発見しやすくなるでしょう。

◆ Unit 3 Listening (45 分)

時間配分目安	授業進行案	問題数
Step 1-1 (5 分)	Part 2 の例題に取り組みます。Part 2 の問題形式説明を兼ねて、音声を 2 回ずつ流すと良いでしょう。	TOEIC 形式 3 問
Step 1-2 (10 分)	Step 1-1 の応答をディクテーションします。数回繰り返し音声を再生することをお勧めします。	3 問
Step 2 (10 分)	When, Where, Why の質問に対する典型的な答え方を解説後、確認として Step 2 に取り組みます。	3 問
Step 3 (20 分)	TOEIC 形式の問題に取り組みます。問題を解き終えた後には、次ページのスクリプトを見て、ペアで意味を考えながら正答を探してもらおうと良いでしょう。	TOEIC 形式 15 問

◆ Unit 3 Reading (40 分)

時間配分目安	授業進行案	問題数
Step 1 (20 分)	英文の SV を発見する問題に取り組みます。Unit 1,2 で学んだ名詞句や修飾語を意識すると良いでしょう。また、各文の意味も同時に考えてもらいます。	10 問
Step 2 (20 分)	品詞問題の仕上げとして、品詞問題の総合問題に取り組みます。1 問当たり 30 秒-60 秒以内で解くことができます。解説する際には、必要に応じて Unit 1,2 に戻ることをお勧めします。場合によっては、接尾辞(P27)の復習が必要になるでしょう。	TOEIC 形式 14 問

◆ Speaking Test (5 分)

時間配分目安	授業進行案	問題数
Speaking Activity (5 分)	英文をかたまりで区切ることを意識して音読を行います。仕上げとして、収録音声を活用してオーバーラッピングをすると良いでしょう。	TOEIC 形式 1 問